

老健ちば

# なのはなだより

NANOHANA DAYORI

# No. 63

March 2011

## NANOHANA DAYORI



■ナースングラザ流山「まぐろの解体ショー」

### INDEX

1 2

トレンドTOPIX  
潮流なみのり  
（ニュースウォッチ）

介護保険法等改正案要綱

フォーカス「老健ちば」

平成22年度

第4回理事会―中止―

〈東北地方太平洋沖地震  
被害について〉



3 4

〈特集「こうほうレポート」総和苑  
逆デイケアの利用で  
認知症専門棟入所者のQOL向上を図る

5 6

〈研修会報告〉

自由気ままに

ペーパーブログ

「ありがとう」

ケアセンターとまぐろさ

斉藤 由香（介護支援専門員）



「研修委員会」よりお知らせ

7

〈なのはなスマイル〉施設の笑顔紹介

●佐倉ホワイエ

●おゆみの

〈編集後記〉



<http://www.chiba-roken.jp/>

平成23年3月31日 発行

●発行者/千葉県老人保健施設協議会 ●編集者/広報委員会

●〒262-0042 千葉県千葉市花見川区花島町149-1 TEL:043-250-7352 FAX:043-286-0661

政府が今国会に提出する  
介護保険法等の改正案の要綱  
が示されました



潮流  
トレンド  
TOPIX  
ちょうりゅう

ニュースウォッチ

「複合型サービス」などの創設盛り込む  
介護保険法等改正案要綱

**厚** 生労働省は2月23日の民主党厚生労働部門会議に、政府が今国会に提出する介護保険法等の改正案の要綱を示した。改正案には、定期巡回・随時対応型訪問介護看護と複合型サービスの創設を盛り込んでいる。

また、「社会福祉士及び介護福祉士法」を改正し、現在は看護師などにしか認められていたんの吸引などの業務を介護福祉士にも拡大。さらに老人福祉法を改正し、社会医療法人による特別養護老人ホーム（特養）の設置を解禁する。法成立後は二部を除いて2012年4月1日に施行する。改正案の主な内容は次のとおり。

■新たなサービス類型の創設

定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、訪問介護と訪問看護の両サービスを24時間体制で提供する。また、複合型サービスでは小規模多機能型居宅介護と訪問看護の両サービスを組み合わせる。いずれも地域密着型サービスとして創設する。

■自治体による主体的な取り組みの推進

市町村が定める地域密着型サービスの独自の介護報酬について、基準額以上を設定する場合でも、一定の範囲内ならば厚労相の認可なしに報酬設定ができる。

■労働法違反で指定取り消しも

労働基準法などの労働法規に違反して罰金刑を受けている介護サービス事業者に対し、指

定権者の自治体は指定を拒否したり取り消したりできる。

■介護サービス情報の公表制度の見直し

事業者が義務付けられている介護サービス情報の公表制度については、都道府県が必要と判断した場合に調査を実施する仕組みに変更する。

■介護予防日常生活支援総合事業の創設

介護予防サービスや配食・見守りといった日常生活支援サービスを総合的に実施できる介護予防日常生活支援総合事業を創設。事業の導入は市町村の判断に委ねる。

■地域包括支援センターの機能強化

地域包括支援センターについては、介護サービス事業者や医療機関、民生委員、ボランティアなどの関係者と連携する努力義務規定を設ける。

■介護保険事業計画の見直し

市町村が介護保険事業計画にできる限り盛り込む事項として、▽認知症の人の日常生活の支援に関する事項▽医療との連携に関する事項▽高齢者の住まいについての施策―を明記。

■保険料上昇の抑制

介護保険料の急激な上昇を抑制するため、都道府県は12年度に限って財政安定化基金の一部を取り崩すことができる。

■有料老人ホームなどの入居者保護  
有料老人ホームや認知症高齢者グループホームに対し、入居者保護契約の締結を義務付ける。

■社会医療法人の特養設置を解禁

現行制度では、自治体や社会福祉法人などにしか認められていない特養や養護老人ホームの設置を社会医療法人にも解禁する。

■後見業務の人材を育成

都道府県や市町村は、後見や保佐、補助などの業務を適正に遂行できる人材の育成に努める。

■介護療養病床、廃止期限を6年延長

現在は11年度末とされている介護療養病床の廃止期限を6年間延長し、17年度末とする。12年4月以降は新設を認めない。

■介護従事者によるたん吸引などの実施

介護福祉士と一定の研修を受けた介護職員は、保健師助産師看護師法の規定にかかわらず、診療の補助としてたん吸引などの行為が行えるようにする。

■介護福祉士国家資格の取得方法見直しの延期

12年4月の施行を予定している介護福祉士国家資格の取得方法見直しについては、施行時期を15年4月に延期する。

## 東北地方 太平洋沖地震の 影響が随所に



### 平成22年度第4回理事会―中止

3月16日(水)開催予定の平成22年度第4回理事会は、東北地方太平洋沖地震の影響で開催が中止になりました。

役員(理事、監事)の選出につきまして、承認が見送られました。

任期満了による、(社)全国老人保健施設協会次期代議員候補者・予備

代議員候補者について、書面表決にて選任されましたので、お知らせ致します。

### 《代議員候補者・予備代議員候補者》

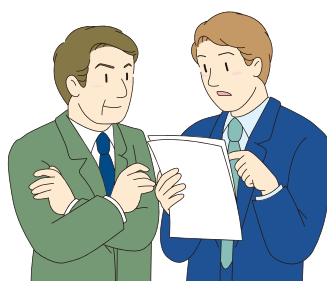
#### 代議員候補者

|   | 氏名     | 職名  | 所属施設       |
|---|--------|-----|------------|
| 1 | 梶原 優   | 理事長 | ロータスケアセンター |
| 2 | 平山 登志夫 | 理事長 | 晴山苑        |
| 3 | 村上 信乃  | 施設長 | シルバーケアセンター |

#### 予備代議員候補者

|   | 氏名     | 職名  | 所属施設      |
|---|--------|-----|-----------|
| 1 | 熊谷 富士雄 | 施設長 | 晴山会ケアセンター |
| 2 | 近藤 悟   | 理事長 | スターチス船橋   |
| 3 | 平原 利彦  | 理事長 | 夢プラスワン    |

※五十音順



### 東北地方太平洋沖地震被害について

3月11日午後2時46分ごろ、マグニチュード9.0を記録する地震が東北地方太平洋沖で発生しました。この度の地震により被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

今般の震災被害により、被災地域の全老健会員施設では日用品や衛生材料等の物資が絶対的に不足している状態です。また、未だライフラインが完全に復旧していないことから、物資が適切に届かないといった悲痛な訴えが寄せられております。

千葉県支部でも、多大な被害状況が報告されておりますので、お知らせ致します。

#### 施設被害

- 壁にひび。施設全体が停電。ボイラー、ポンプの安全装置作動により、機械類が停止。
- ガラスにひび1枚。
- 5Fリハビリ室・デイケア室の一部、天井落下。配管亀裂による水漏れ(修繕済)。
- 防煙垂れ壁の破損。天井石膏ボード落下。照明の落下(ぶら下がってる)。
- 階段室屋上外壁、一部崩れる。
- 浄化槽破損。床の隆起数カ所。E.V故障。
- 受水槽バルブ破損。E.V停止。ボイラー感震ストップ。空調感震ストップ。漏電2カ所。
- テレビ落下・破損。(2台)
- ガラス数枚破損。壁に数カ所クラックあり。
- 浴室の水漏れ。タイルのひび割れ。給湯器1台に支障あり。
- 庭など液状化現象。(地盤沈下・地割れ等)
- 防災ガラス一部破損。建物内壁一部ひび割れ。冷暖房室外機損傷により暖房使用不可。浴槽にひび割れ。
- 施設入口のタイル落下。
- 壁の軽微なひび、欠けなど。
- 食堂入口タイルのひび割れ1件。階段壁にひび割れ1件。トイレタンク内破損1件。書棚からの陶器・本の落下1件。電灯の傘、落下。E.V停止。ガス停止。
- 建物の亀裂、数十箇所。

#### その他被害

- 地震当日(翌日)の13時30分まで停電。夜勤を3名→4名で対応。
- 通所リハ、実施が不規則になり利用者に混乱。入所も入浴時間の確保が難しい。
- 敷地内漏水、修理時断水。
- 停電、断水(翌16時復旧)
- デイケア利用3名、家族帰宅困難となりショートステイ1泊利用。
- 水道が止まったが2日目に復旧。(井戸水あり)。一時的にガスが止まった。利用者・職員の家が津波被害にあった。
- デイケア3/14/16中止。その後、縮小して再会。
- 1名切傷(4cm)。
- デイケアの中止(15/19日)。
- ガソリン不足、計画停電の為。
- 断水。ガソリン不足。ガス遮断。
- 在宅酸素利用者の対応。電気の確保。自家発電の経由の確保。食料の確保。
- 玄関入口、約10m亀裂。駐車場内数カ所、亀裂。
- 紙オムツ、ガソリン等の確保が難しい。
- 駐車場の一部、地盤沈下。
- ガソリン不足によるデイケア中止。
- 計画停電によりデイケア中止(2日間)。
- 液状化現象による地盤沈下および断水。
- ガソリン不足。紙オムツ、リネン類の流通不足。
- 職員の通勤災害。

特集

こうほう

レポート

総和苑



今回の広報レポートでは  
総和苑の「逆デイケア」という  
ユニークな試みをご紹介します。

総和苑

# 逆デイケアの利用で 認知症専門棟入所者の QOL向上を図る

2月2日火曜日に、広報委員会は

「逆デイケア」を行い、利用者様のQOL向上を積極的に行っている  
総和苑さんに取材に行ってきました！

当日は、平井施設長、灘事務長、担当の高橋総括課長にご対応をいただき、  
実際に利用者様と逆デイケアを行っている所を見学させていただきました。

逆デイケアを行ったきっかけは、閉鎖的な療養室空間から地域へ出ることを継続し、その活動性、QOL、認知機能の変化を図るということを目的に21年4月より「逆デイケア」と名づけて開始したそうです。

逆デイケアに参加されている利用者様は、認知症棟の方で歩行可能な方を中心に行っています。場所は施設近隣の民家（空家）で行われています。人数は、4〜5名で職員も同じ人数参加します。特徴的なのは、地域のボランティアの方も来られている

ことです。春から夏にかけては、1週間に1回、冬のみ2週間に1回のペースで行っているそうです。時間帯は、午後の13時半〜15時の間。おやつ作りなどを、利用者・職員・地域のボランティアの方が一緒にアットホームな感じで行われています。

私たちが見学に行った当日も、利用者様を中心に担当の職員、地域のボランティアさんが、「けんちんうどん」を一緒に作り、同じテーブルで膝を合わせて和気あいあいと食べていました。その姿はまさに、古き良き時代を

彷彿させるようでした。

職員の方たちからは、「施設内では見れない姿や、新たな発見があった」と言う意見があり、利用者様からは、「若い人たち（職員）と一緒に料理を作り、食べることが何よりも楽しい」との感想がありました。

実際、職員、利用者様は皆さんいきいきとされていて、職員・利用者様が同じ世界を共有していて、とても素晴らしいと感じました。

総和苑のスタッフの皆さん有難うございました。



はい、  
チーズ！



みんな  
で楽しい  
食事



おいしいそうなのはどれかな？



総和苑 住所：〒266-0003 千葉県千葉市緑区高田町1084  
電話：043-291-8211  
開設：平成10年6月3日  
入所・短期入所療養介護定員：100名  
通所リハビリテーション定員：50名



# 研修会報告

## 事務職員研修会



講師：池田 嘉人 氏  
前原苑 事務長

平成23年2月16日事務職員研修会が開催されました。介護老人保健施設前原苑事務長池田嘉人氏を講師にお迎えし「介護老人保健施設で働く事務職員に期待すること」をテーマに講義とグループワークがありました。

今回は池田氏のご協力を頂き、研修会の概要を御紹介致します。

老健施設は特養等とは異なり、多様な開設主体に運営が認められ、また開設形態や入所定員規模も多岐にわたる。介護保険法上の事務員の配置も、実情に応じた適当数となっており、また併設施設の職員との兼務や業務委託も認められている。事務員の業務や配置数の設定は他職種と異なり、施設独自で定めて構わない。

今回、事務員の役割を「施設の社会的責任を果たし、施設を維持・発展させていくため、施設の職員が安心して業務に専念できる環境をつくること」と定義させて頂いた。もちろん、「安心」とは、職員個々の考えや感じ方に基づくものであり、一概に言えることではない。講義では「安

心」とは思えない職場環境として、①給与等が遅配する ②法令遵守されない ③実情に見合う職員数が確保されていない ④必要な機器・設備が整備されていない等を挙げた。

次に、事務員の具体的な業務を①介護保険関連 ②経理出納 ③人事労務・給与計算等 ④その他の4つに分類した。その中でも36協定・免許の原本照合・労災・パート等についてはより詳細な説明を付け加えた。例えば、労災では「介護職の腰痛」「認知症の方の暴力での負傷」等の事例を挙げ、労災適用のポイントを説明した。

演習「机上の作業で現場を体感する」では、紙に書かれた30問の意味不明なカタカナの羅列の意味が解るように並び替える。約束事として、作業中に出す指示には必ず従う。開始とともに、集中を妨げる指示や意味のないばやきを続けました。苛立つ事務員の様子が伺え、演習を通して、介護の現場は作業に集中しづらい環境であることを体感して頂けたと思います。



## 支援相談員研修会



講師：柳瀬 一正 氏  
東京都立松沢病院  
社会復帰支援室相談係長

平成23年3月2日支援相談員研修会が開催されました。東京都立松沢病院社会復帰支援室相談係長柳瀬一正氏を講師にお迎えし講義がありました。「相談援助技術を学ぶ」をテーマにわかりやすい講義に演習が加わり、当初は緊張していた参加者は徐々にリラックスした雰囲気での一日を過ごすことができました。

相談援助面接の基本ステップとして対人援助技術を学び、鍛えるために「面接の醍醐味とその基本にある知識・技術・価値」について講義がありました。「葛藤、ジレンマなくして対人援助職ではない。」とのことばに大きくうなずき、クライアントがどんな人か的確に言語化するため「基本情報」と「興行き情報」のポイントを見つけられる技術を習得し、臨床像を描くことを目標にする。その為には、技術の習得と自己成長のスパイラルで、対人援助の道具である自分自身を熟成させる必要があると学びました。

対人援助職としてのポジショニングの重要性・認知行動療法・コーチング・言語

的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションについて演習を取り入れながらの講義がありました。私たちの身体にしみ付き無意識に実践している技術の確認と、これから取り入れたいスケーリング質問・リフレーミング・ノーマライゼーション・例外さがしを演習することで、演習グループのメンバーと同じ悩みを共有することができました。

また、支援相談員部会の運営委員会の申し合わせ事項について説明があり、今後の活動について確認をし、研修会を終えました。





## 『ありがとう』

ケアセンターさきぐさ

斉藤 由香(介護支援専門員)

「あら、あなたどこへ行ってしまったの、よかったわー」認知症のフロアーに行くと必ず声をかけてくるYさんだ。Yさんは私の手を取るとどんどん歩いていく。「ほらここへ座るといいわ、本当に良かったわねー」ソファーに座ってもなかなか手を放そうとせずニコニコしている。Yさんの中ではきつと今私は会いたかった大切な人なんだろうな。そう思うと心の中がほっこり暖かくなるような気がする。私が介護保険の仕事が始めるにあたって、恩師は「現在の平和で豊かな日本を築いてくださった方々として敬う心を持って接しなさい」「自分の親にする親孝行を代わりにさせてもらっていると思いなさい」との言葉を頂いた。あれから十年。自分ほどの位の事が出来たのだろうか…。ほんやりとそんな事を考えていると、「あっちでSさんが放尿してます！」とスタッフが走って行く。本当にこの人生

の先輩方には毎日色々な事を教えられ、考えさせられることばかりである。フロアーを出ようとすると、Yさんがいつの間にかやって来て「ありがとう。気をつけてね。また会いましょうね」とニコニコしている。本当に良い笑顔だ。そんな時、この仕事をやってきて良かったなと思う今日この頃である。



## 「研修委員会」

### よりお知らせ

#### 研修委員会の活動

副委員長 出川 正樹(秀眉園)

現在研修委員は、多職種で構成された7名で活動しています。年間1〜2回の会議で、研修会の内容確認、反省、日程等の調整を行ない各研修の担当を決めます。1年間で1人あたり2〜3回の研修会を担当します。講師の打診、内容の確認、当日の司会進行と責任は重く何回行なっても緊張します。

研修委員は各々の所属先での仕事がありますが、その仕事の合間を縫いながら、会員の方々に少しでも多く参加していただけるような企画を考えています。

昨年の事例研究発表大会では、初めて座長・参加者による投票を行ない表彰しました。表彰は優秀ではなく、研究者皆様へのねぎらいや意欲向上等を目的に始めました。

少しでも現場に即した意見をお伺いしたため、研修会の最後にはアンケートの提出をお願いしております。お気づきになった事や、研修会として行なってほしい事など自由に記入をお願い致します。



**INGENIOUS** 福祉車両の販売・メンテナンス  
エンジニアズ株式会社

〒114-0004 東京都北区堀船3-32-11 tel.03-5390-2311  
フリーダイヤル 0120-023-238



福祉車両の  
プロフェッショナルに  
お任せください。

ホームページにて **福祉のひろば** を開設致しました。  
無料掲載をご希望の施設様はお問い合わせ下さい。

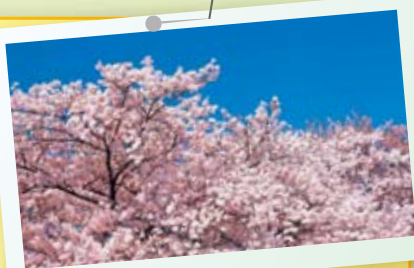
<http://www.ingenious.co.jp/>



# なのはな スマイル



## …施設の笑顔紹介



「ホワイエ」。それは暖炉、つまり、家族団欒の場所。当施設を利用される皆様が、感謝の気持ちを持って長寿を喜び合い、互いに家族の絆を育てていただけるように頑張りたいと思います。また、理念である「真心と信頼」を常に念頭に置いて職務に努めています。

利用者さんが生活上で能力を最大限発揮できるようサポートします。また、一人ひとりの出会いが楽しみです。

●佐倉ホワイエ  
理学療法士 黒川 修一



### ■ 佐倉ホワイエ

住所：千葉県佐倉市錦木町336  
電話：043-484-4680  
開設日：平成2年12月21日  
入所：80名  
通所：60名



当施設は今年で8年目を迎え、地域の皆さまのニーズに応えるべく、当法人の特色でもあります“和顔愛語”の精神と“リハビリ”を中心としたサービスを提供しております。地域に根差し、皆さまの頼れる施設として努力して参りますので、宜しくお願い致します。

おゆみのデイケアでは、職員の個性があるように利用者様一人ひとりの“その人らしさ”を大切に接しています。

●おゆみの  
支援相談員 飯島 香



### ■ おゆみの

住所：千葉市緑区大金沢町364-1  
電話：043-293-5151  
開設日：平成15年6月5日  
入所：100名  
通所：36名

## ●編集後記

- 3月11日におきました東北地方を中心とする地震で被害を受けられた方々に心からお見舞いを申し上げます。当施設でも停電が10時間も続き、私も施設で夜を明かしました。また、ご利用者の方から関東大震災の時の話を聞いたりして改めて地震のすごさを痛感いたしました。これからもいろいろ大変ですが皆さん頑張らしましょう！（神作）
- 今回の東北地方太平洋沖地震では、日々甚大な被害が報告されております。被災された方には心よりお見舞い申し上げます。千葉県各施設におかれましても計画停電の対応などご苦労なさっていることと思います。でも被災地の方の窮状を思うと、今私たちにできることは何かを考え、小さなことでも協力していかなければと考えています。（坂本）
- 3月11日。そのとき、私は何を考えたのか？私がおこした行動は？そして今、何を大切に思い行動しているのか？私にできることは？毎日、自身に問い続けています。あまりにも衝撃が大きすぎます。明るい光が見える日は来るのでしょうか？被災者の方々にお見舞い申し上げます。（若林）

- このたびの東北関東大地震は極めて甚大な被害で言葉を失うものでした。さらに余震が続く中に、追い打ちをかける「計画停電」の実施と、休まる日は未だ見えてきません。しかし、報道で見る現地被災者に比べると自分たちはずっと恵まれていると思われました。今我々に出来ることは、利用者様の安全を第一にこの困難を乗り切っていく事が大切だと思います。皆さん、頑張っていきましょう！（斎藤）
- 震災の報道を見るたびに、心が痛くなります。当施設では、何か援助したいと言う事で、早速、職員からお金を集めました。被災された若いお母さんがテレビで「大人のオムツはあるけれど子どもの粉ミルクとオムツがない」と言っていたので、集めたお金を粉ミルクと子供用のオムツに換えて送りたいと思います。被災された皆さん頑張って下さい！！（原）
- あの地震の際、私の施設では、緊迫した状況で利用者を外へと避難誘導を行いました。外は、日差しがあったものの、施設内の毛布類を集め利用者に暖を取ってもらい職員は冷静に利用者の精神安定に努めました。そして、余震の中、深夜まで続く停電で、落ち着かない一夜を過ごしました。今でも、まだ商品の搬入等で混乱が生じていますが、それ以外は、大分落ち着きを取り戻しています。被災者の方々への義援金募金も始まり、多くの方が早く立ち直ってもらえるように祈っております。（佐々木）